＜先週の説教から＞

『ルカ９１ ― あなたを拒む者には』

武田 真治　牧 師

創世記　３２：２３～３１　ルカ福音書　１０：１７～２０

イエス様がエルサレムへ向かう伝道の旅を始められるに当たり、７２名の弟子たちを選ばれ、ご自身が立ち寄られる町や村に二人づつ送られました。その際、イエス様はあらかじめ「入っても、迎え入れられなければ、広場に出てこう言いなさい。『足についたこの町の埃さえも払い落として、あなたがたに返す。しかし、神の国が近づいたことを知れ』と」言いなさいとまで言われています。つまり、彼らのその地での伝道が“失敗してしまった”場合についてまで想定して、多くの配慮をなされた上で送り出されたのでした。

その各地の伝道地から７２人が戻ってきて、自分たちの伝道の成果についてイエス様に報告しているのが今日の聖書箇所です。即ち「七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。『主よ、お名前を使うと、悪霊さえもわたしたちに屈服します。』」です。弟子たちは各々の場所での伝道に失敗してしまったとか、その地の人々に跳ね返されてすごすごと帰ってきたということではなかったのでした。そればかりか、むしろ各々の遣わされた場所で“喜び”を感じたと報告しているのでした。何より素晴らしいことではないでしょうか？

ただ、間違ってはいけないことは、彼らの伝道がうまく行ったことで喜んでいるのではないという点です。彼らの喜びは“イエス様の名の凄さ”を感じることができたことでした。「お名前を使うと」という言葉の意味は、何より願い事やお祈りをする際に『主の御名によって』祈り、願うことを指します。そのように願えば叶えてあげようとイエス様から教えられていたのでしょう。弟子としてイエス様につき従っていた時にはそれほど、御名によって願うことの凄さが分からなかったのでしょう。それが、いざ実際に現場に出て、自分が矢面に立って動いたり、判断したりしなければならない状況に置かれた時、必死になって祈り、願った時に初めて、その祈りや願い事が聞かれていく、導かれていく、特に悪霊との闘いで力を発揮してくれることを目の当たりにして、“主の名を使うことの凄さ”に感動したのでしょう。そして、この名によってこれからも生きていけば良いことを発見して、喜びに満たされたのでした。

その弟子たちの姿を見て、イエス様は「敵のあらゆる力に打ち勝つ権威を、わたしはあなたがたに授けた。しかし、悪霊があなたがたに服従するからといって、喜んではならない。むしろ、あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」と語られています。御名の使い、伝道に参加することで“天に名が記される”という、これこそ素晴らしい約束をイエス様は私たちに与えてくださっています。この喜びに勝るものはないと！なるほどと思わされますね！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会　Ⅰ．11 月 25 日（水）20：00
　　Ⅱ．11 月 26 日（木）10：30
聖書研究：　ヨブ記
祈祷主題：　アドヴェント音楽祭を覚えて
担 当 者：　（水）SN　（木）AT
祈りに覚える人：　HM さん　　MY さん
＊ハンナの会　　11 月 17 日（火）10：30～

【教勢報告】

主日礼拝　　男 16　女 42　　計 58
祈 祷 会　Ⅰ．男 5　女 1　計 6　　Ⅱ．男 1　女 6　計 7
日曜学校　　幼稚科 5　　小中科 6　　計 11

【次週礼拝】　１１月　２９日（日）

聖　書：　詩 編 ６６編　１～２０節
　　ペトロの手紙　Ⅰ、１章　３～９節
説　教：　「詩編 66 ― 神様の試みを通して豊かな所へと導かれる」武田 真治 牧師
讃美歌：7(1)、３２、聖歌隊による賛美、２０１、５２１、２７(1)

【次週当番表】

司式:SM 長老　奏楽:NY　礼拝:HN 長老
献金：MH　YT　　受付：OK　HH
会堂準備：IN　IY　IA　IK
看板：II　　週報：TM　　お花：IY

【次週集会予定】

礼拝前：・日曜学校(礼拝・分級)　　・はこぶねルーム
　　・聖書輪読会
礼拝後：・アドヴェント音楽祭

６７－４７

週　報

2026 年度　教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

２０２６年　１１月　２２日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**
牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549